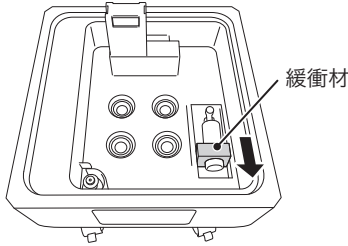


ご使用前に必ず本紙と取扱説明書を最後までよくお読みください。

プロミスト PK-804S-EP3000 / PK-808S-EP6000

※本紙で使用しているイラストはPK-804S-EP3000です。お使いの機種により形状が異なる場合があります。

下部本体のフロートについている緩衝材を取り除いてください。



本製品の設置場所にご注意ください。

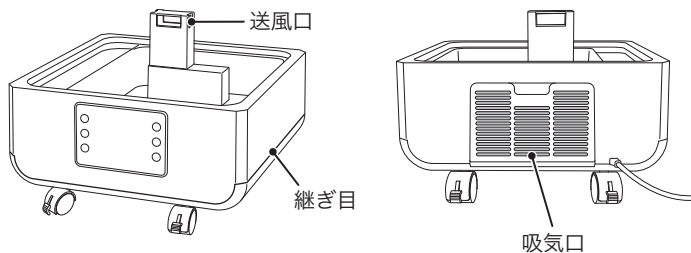
本製品を電気製品や紙類などの濡れに弱いものや、布巾・タオルなどの敷物の上、貴重品の上または近くに設置しないでください。本製品は、水平な場所に設置してください。傾きのある場所に設置しますと、水位センサーの働きにより、プール内に液剤があっても噴霧を停止する場合があります。

また、ミストが物（壁、カーテン、衣類、電気製品、紙製品、金属類など）にかからないように設置してください。

参照 取扱説明書「設置について」(PK-804S / PK-808S : 5 ページ)

本体部の送風口・背面吸気口・下部本体の継ぎ目から液剤や水が入らないようご注意ください。

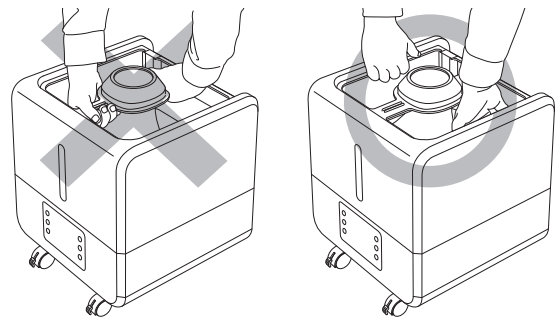
- ・タンクの脱着やお手入れのときは、送風口から液剤や水が入らないようご注意ください。
 - ・本製品を移動する際は、必ずタンクを本体から取り外し、プール内の液剤をこぼさないように行ってください。
 - ・お手入れの際などに、底面の吸気口から水が入らないようご注意ください。
 - ・コントロールパネル周辺が液剤や水で濡れないようご注意ください。
- 内部に液剤や水が入ると故障の原因になります。



移動の際は、プール内の液剤（水）を大きく揺らさないようご注意ください。

揺れによって、プール内の液剤（水）が送風口から本体内部へ入り込むと、送風ファンや電気基板の故障の原因になることがあります。本製品を移動する際は、プール内の液剤（水）が大きく揺れないよう、急激に押すなどを避けてゆっくりと移動するか、以下の要領で、タンクを取り外した状態で移動してください。

- 1) 下のイラストのように、タンク内側から側面の裏を持って持ち上げ、下部本体からタンクを取り外します。
- 2) タンクは、下から手を添えて運んでください。
- 3) 下部本体は、プール内の液剤（水）をこぼさないように注意して移動してください。



本製品には空間噴霧に適した次亜塩素酸水（または、水で希釈した次亜塩素酸水溶液）以外のものを入れないでください。

長く上手にお使い頂くためにはお手入れが必要です。

次亜塩素酸水を噴霧していると、水に含まれるミネラル成分が振動子周辺に付着（スケールの付着）していきます。スケールの付着が進行すると振動子の寿命低下やパッキンの劣化を早めるため、日常的にこまめなお手入れを行ってください。

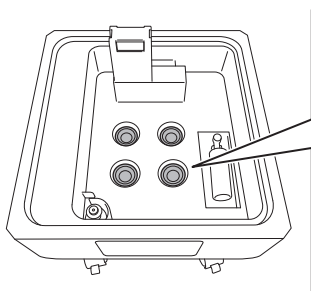
参照 取扱説明書「お手入れの仕方」
(PK-804S / PK-808S : 14 ~ 15 ページ)

振動子、固定金属枠は消耗部品です。 ※ 振動子ユニットの交換（有償）は販売店にご依頼ください。

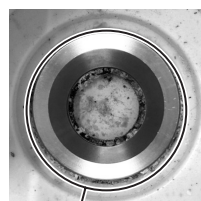
スケールの付着により、振動子と固定金属枠の消耗や劣化が早まります。

金属枠や振動子が下記の状態の場合は振動子ユニットの交換時期です。

交換せずに使用を続けるとこの箇所から液剤が本体内部に流れ込み、底面から漏れる恐れがあります。

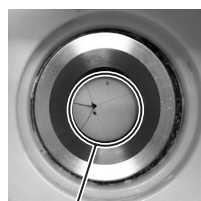


固定金属枠の腐食



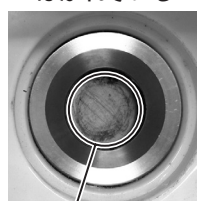
固定金属枠

振動子のひび割れ



振動子

振動子の被膜がはがれている



振動子

参照 取扱説明書
「消耗部品の交換について」
(PK-804S / PK-808S : 17 ページ)

※ 消耗の早さは出力や運転時間、お手入れの仕方など使用環境によって異なります。

↓ お手入れのしかた（裏面）も合わせてお読みください。